

# 「安全保障政策」研究会

## 1. 研究概要

本研究会の目的は、新しい安保法制と日米ガイドラインの評価を行い、新たな日本の安全保障政策と日米同盟のリアリティ・チェックを行うことである。本研究会は主に安保法制の整理とガイドライン改定の含意の調査・研究を行う一方、本事業の中心となるケーススタディおよび政策シミュレーションを単独及び併設する2つの地域研究会と合同で実施する。

### <研究項目>

- ・ 安保法制とガイドライン改定に関する分析と結果の公表。主な分析点は、グレーゾーン事態、拡大抑止、武力攻撃（予測）事態、存立危機事態、重要影響事態、国際平和共同支援事態、国際平和協力、など。
- ・ 米軍のアジアへの前方展開と日米同盟に影響を与える戦略議論の動向調査と結果の公表（エアシーバトル、コスト賦課戦略、オフセット戦略、競争戦略など）。
- ・ 単独ケーススタディ1回と事後評価の公表。
- ・ 合同ケーススタディ2回（朝鮮半島・中東各1回）と事後評価の公表。

## 2. 研究体制

### <主査>

神谷 万丈 防衛大学校教授／日本国際問題研究所客員研究員

### <委員>

佐橋 亮	神奈川大学准教授
神保 謙	慶應義塾大学准教授
高橋 杉雄	防衛研究所主任研究官
村上 友章	三重大学特任准教授
森 聡	法政大学教授

### <委員兼幹事>

前川 信隆	日本国際問題研究所研究調整部長
小谷 哲男	日本国際問題研究所主任研究員